

令和7年度

「運営に関する計画」

大阪市立新北島中学校

令和7年4月

大阪市立新北島中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校の課題として、「生徒の学力の向上」、「教員の授業力向上」、「自尊感情の向上」の3点があげられる。本校は、学校独自に「命を考える日」を設定するなどして、自他敬愛の心をもって、互いに協力する教育活動を推進し、充実した学校生活の実現に努めている。

【安全・安心な教育の推進】

- 学校行事や、学年行事において、生徒主体で企画・運営をさせ、多くの生徒が達成感を味わうことができた。今後も、さらに高みを目指した行事を行っていきたい。また生徒の自己肯定感がさらに向上するよう、生徒支援に注力していきたい。
- 教育相談や連絡ノートを通して、生徒が教員に安心して相談できるようにしているが、生徒のニーズに十分に応えられていない。hyper-QUテストを活用した生徒理解を進め、生徒の声を拾う機会を作るとともに、スクールカウンセラーとの連携も強化していくことが必要である。
- 将来の仕事や高校選択を自らの力でできるようキャリア学習や進路学習や進路講話を実施していくとともに、教員に対して進路についての研修を実施する必要がある。
- 不登校については、統計上の数字では横ばい状況であるが、アシストルームを設置以降、改善傾向にある。今年度も、全時間開設を目標として取り組んでいきたい。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和6年度全国学力・学習状況調査現（高1年）の結果、対府平均正答率は国語が0.877%（2年次0.868%）、数学が0.863%（2年次0.660%）と前年度より若干向上した。しかしながら、最後まで問題に取り組むことや、自分の考えを自分の言葉で伝えること、資料や文章を読み取ること、話の組み立てを行うことに課題がある。今後、生徒の学力向上を達成するためにICT機器を活用しながらも、読解力の向上を含んだ学力の向上を図りたい。具体的には「学習者用端末」の「パワーポイント」や「モノグサ」等を活用した学習習慣の定着や授業での思考、発表の実践に取り組んでいく。
- 3年生や1、2年生の希望者を対象に英語検定（希望する級）を実施した。今回、目標値である40%（今年度34%）には届かなかったものの2級や準2級といった難易度の高い級に挑戦した生徒もあり、合格者も出ている。
- 各学年で既存の競技だけでなく、運動やスポーツに親しむための取り組みを実施しており、その企画段階から生徒中心で動き、運営までを行っている。今後もこの取り組みを継続するとともに、新たな挑戦も取り入れ運動やスポーツに親しむ機会を作っていく。
- 学校生活アンケートの「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目について肯定的に回答する生徒の割合は高い。しかし、実際に考えを深められているかはテスト結果を見ると疑問が残る。今後はさらに話し合い活動の質を高めたものに改善していく必要がある。

【学びを支える教育環境の充実】

- 週に2回以上、ＩＣＴ機器を使用した授業や取り組みを行う教職員の割合を80%以上にするために、教員の授業等での活用頻度を上げ、教員の活用のための研修を開催するとともに、さらに生徒の使用について指導をしていくことが必要である。
- 教員の働き方改革において、毎月1回「ゆとりの日」を設けるとともに、互いの協力や声掛けで、平日の退勤は早くなっているが、土日の部活動が課題となっている。さらに部活動指導員の活用を含めた対策を講じていく必要がある。
- 学校図書司書や生徒の図書委員とのイベントの実施や、教科による図書室活用により図書館の利用が増加したが、本を読んだ回数には反映されていない。本を読み切れない生徒が多いこと、生徒の中で「本を読んだ」と認識されていないことが挙げられたため、より生徒が読みたくなるような本のリサーチや購入が必要である。また、教務部・学力向上委員会・図書委員会などが連携し、学年単位で読書に取り組めるよう全体で考えていく必要がある。そのためにも朝学活での週2回の「朝読書」の時間を確保と定着を図る。
- キャリア教育については、「職場体験」、「職業講話」や「探究活動」を通じて、失敗を恐れず、様々なことに主体的に取り組める環境を通して生徒の自尊感情をより育む取組を実施していく、将来の進路について一人ひとりが自信をもって目標に向かって努力できるように進めていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・令和7年度の学校生活アンケートの「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、82%以上にする。
- ・令和7年度末の学校生活アンケートの「悩みや心配事を相談できる先生がいますか」の項目について肯定的に答える生徒の割合を、80%以上にする。
- ・令和7年度の学校生活アンケートの「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、80%以上にする。
- ・令和7年度の学校生活アンケートの「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、80%以上にする。
- ・毎年度末の校内調査において、不登校の生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和7年度までの全国学力・学習状況調査の国語と数学の平均正答率の全国平均値を「1.00」にする。
- ・令和7年度の中学校チャレンジテストの平均点が府平均点の7割以下の生徒を、いずれの学年も25%以下にする。
- ・令和7年度の大阪市英語力調査の中学校卒業段階でのC E F R A 1-2 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の生徒の割合を、56%以上にする。
- ・令和7年度までの全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、毎年度、全国平均以上にする。※全国平均を1とした時の割合
- ・令和7年度の学校生活アンケートの「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える生徒の割合を、35%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和7年度、授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の半数を超えた学校の割合を75%以上にする。
- ・令和7年度において教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を80%以上にする。
- ・令和7年度の学校生活アンケートの「ICT機器を活用した学習活動は学習内容を理解するのに役立っていますか」の項目について最も肯定的に答える生徒の割合を70%以上にする。
- ・令和7年度末の教職員アンケートの「校内研修が充実していたと思うか」の項目について、肯定的に答える教職員の割合を、80%以上にする。
- ・令和7年度の学校生活アンケートの「1ヶ月に本を何冊読んでいますか。」の項目について、2冊以上と答える生徒の割合を50%以上にする。
- ・令和7年度末の学校生活アンケート（保護者）の「学校の様子を、HPや学校・学年・学級通信等によってよく知ることができますか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、90%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・令和7年度の年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、90%以上にする。（前年度87.4%）
- ・令和7年度の年度末の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、80%以上にする。（前年度79.5%）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する生徒の割合を43%以上にする。（前年度41.1%）
- ・令和7年度の中学校チャレンジテストの平均点が府平均点の7割以下の生徒を、いずれの学年も5教科平均25%以下にする。
前年度 1年 国23% 数30% 英38% 2年 国26% 社42% 数25% 理26% 英27%
- ・全国体力・運動能力。運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より0.1ポイント向上させる。（前年度 +2.9ポイント）

【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和7年度、授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の半数を超えた学校の割合を50%以上にする。（前年度12.6%）
- ・令和7年度において教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を60%以上にする。（前年度57.1%）
- ・令和7年度の学校生活アンケートの「1ヶ月に本を何冊読んでいますか。」の項目について、2冊以上と答える生徒の割合を30%以上にする。（前年度21.8%）

大阪市立新北島中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	進捗状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ・令和7年度の年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、90%以上にする。(前年度 87.4%) ・令和7年度の年度末の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、80%以上にする。(前年度 79.5%)	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 生徒主体で企画・運営する学校行事を設定し、生徒が「楽しい」と思える機会を作る。 指標：行事実施後の生徒アンケートにおいて「学校行事に充実感や達成感を感じていますか」の項目に対して肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 生徒が教員に安心して相談できるよう、生徒・教員間で教育相談や連絡ノート等を活用し、生徒の声を拾う機会を作るとともに、hyper-QUテストを活用した生徒理解を進める。 指標：毎月の生徒アンケートにおいて「悩みや心配事を相談できる先生がいますか」の項目に対して肯定的に回答する生徒の割合を増加させていく、年度末には、80%以上にする。	
取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】 生徒が夢や目標、自己肯定感を持てるよう、生徒支援に関する取り組みや研修を行う。(新北島タイムの活用) 指標：取り組み実施後の生徒アンケートにおいて、「自分にはよいところがある」の項目に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。	
取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】 生徒に将来について考える機会を持たせるため、キャリア教育を実施する。 ・令和6年度の学校生活アンケートの「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、80%以上にする。(前年度 71.5%)	
取組内容⑤【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 不登校生徒の居場所づくり、登校経験を増やすため、アシストルームを開設する。 ・教員だけでなく、学びサポーター等の人員を配置し、全課業時間に開設する。	

年度目標の進捗状況や取組の進捗状況の結果と分析
後期への改善点

大阪市立新北島中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	進捗状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 ・令和7年度までの全国学力・学習状況調査の国語と数学の平均正答率の全国平均値を「1.00」にする。（前年度 国語 0.86、数学 0.83） ・令和7年度の中学校チャレンジテストの平均点が府平均点の7割以下の生徒を、いずれの学年も5教科平均25%以下にする。 前年度 1年 国 23% 数 30% 英 38% 2年 国 26% 社 42% 数 25% 理 26% 英 27%	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 各教科で学びサポーターを活用し補充学習を行うことで読解力の向上を目指す。また7次加配を活用し、習熟度別分割授業やチームティーチングを実施する。 指標：学校力UPベース事業の取組の中で実施する生徒アンケート※習熟度別分割授業やチームティーチングの取組後「(教科)の学習はわかる」の項目で肯定的に回答する生徒の割合を各学年72%以上にする。 *前年度 全国学力学習状況調査（3年生） 国語科 77% 数学科 85% 英語科 52% 3教科平均 71.3% 中学校チャレンジテストの国語「読むこと」の領域の正答平均点を府・市と比較し-10%以内（前年度は同等という記述）にする。	
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 3年生を対象に英語検定（希望する級）を実施する。 指標：英語検定を3年生で受検させ、合格した生徒の割合を40%以上にする。（前年度38%）	
取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】 既存の競技だけでなく、学年単位で運動やスポーツに親しむための取組を実施する。 指標：各学年とも年間で1回以上、学年単位でスポーツに関する取組を実施する。	
取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 授業や定期テスト前の学習会、学年行事の取組を行う際に「グループワーク」形式で教え合い、意見交換を中心とした協働学習を行うとともに、先進的に取り組みを行っている学校への視察を行う。 指標：学校生活アンケートの「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、49%以上にする。（前年度48.6%）	
年度目標の進捗状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後期への改善点	

大阪市立新北島中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	進捗状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 ・令和7年度、授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の半数を超えた学校の割合を50%以上にする。（前年度12.6%） ・令和7年度において教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を60%以上にする。（前年度57.1%） ・令和7年度の学校生活アンケートの「1ヶ月に本を何冊読んでいますか。」の項目について、2冊以上と答える生徒の割合を30%以上にする。（前年度21.8%）	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の達成状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】 ICT機器の種類にとらわれず、各教科・学年の取組で週に2回以上、ICT機器を使用した授業や取組を行う。 指標：教員アンケートにおいて「週にどの程度ICT機器を使用した授業や取組を行うことができましたか」の項目において、2回以上と回答する教職員の割合を80%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教員の働き方改革を推進するため、学校閉庁日の設定、「ゆとりの日」の充実をはかる。 指標：「ゆとりの日」を月1回設定し、その日の定時退勤者（17時30分をめどに）を全教職員の75%を目標とする。	
取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】 ・学校図書館司書と連携しながら図書館の開館頻度と時間を増やし、図書館で読書をする生徒の増加を図る。また学校生活に関連した図書や、読みやすい本の購入。 ・図書委員会とも連携し、本の紹介などを行い生徒に興味関心を持たせる。 ・週に2回の朝読の時間を設ける。 指標：学校生活アンケートで、1ヶ月に「2冊以上本を読んだ」という生徒の割合を30%以上にする。	
取組内容④【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 学校からの情報発信をそれぞれ関連付けて行う。校長室だより、学校通信、学年通信にHPのQRコードを掲載する。HPに各通信を掲載する。 指標：学校生活アンケート（保護者）の「学校の様子を、HPや学校・学年通信によってよく知ることができますか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、90%以上の高い割合を維持する。	
年度目標の進捗状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後期への改善点	

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立新北島中学校 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】
年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】
年度目標：【学びを支える教育環境の充実】
【安全・安心な教育の推進】 【未来を切り拓く学力・体力の向上】 【学びを支える教育環境の充実】

3 今後の学校園の運営についての意見

--